

ニンフェアール第16回公演

声の行方・言葉の力

～ベートーヴェン生誕250周年によせて～

『音楽とは精神と感覚の世界を結ぶ媒介のようなもの』

ベートーヴェン

愛知県芸術劇場中リハーサル室

2020.12.20（日）14:00 開演

主催：ニンフェアール

助成：愛銀教育文化財団

協力：愛知県芸術劇場

== ご挨拶 ==

本日はお忙しい中、ニンフェアール第 16 回公演『声の行方・言葉の力』にご来場頂き有り難うございます。2005 年の第 1 回公演から毎年続けてこられましたのも、ご来場下さる皆様、ホール関係者、公演に関わって下さる方々の暖かいご支援の賜物であり心からお礼申し上げます。新型コロナの影響で演奏会も今年はほとんど中止されてしまい不安定な日々でしたが 250 年前にベートーヴェンの生まれた 12 月にニンフェアール公演を無事に迎えることができ光栄です。来年度は不安のない環境で演奏会を楽しめる日々が戻ってくることを祈っております。

本公演では、声に焦点をあてます。アリベルト・ライマンから現代声楽曲を学んだ森川栄子によるライマンのソプラノ作品、そして今年、彼女のために書かれた久留智之、水野みか子、伊藤美由紀による3作品をお届けします。新作を含んだ無伴奏のためのソプラノ作品のみを集めた貴重な公演となります。声の魅力、可能性を存分にお楽しみ下さい。

2020 年 12 月 20 日

ニンフェアール・伊藤美由紀

ニンフェアール

2005 年愛知県で開催された国際芸術フェスティバル参加を機に結成。ニンフェとは、フランス語の睡蓮の意味で、ギリシャ語の乙女、蛹を意味するニンフとをかけており、アールは、フランス語でアートを意味する。美しく新鮮で、将来への可能性を秘めた芸術作品を名古屋で紹介する。ヴィオラ・ダモーレとリコーダーによるニンフェアール第 1 回公演『古楽器の現在』から始まり、愛知県にゆかりのある作曲家、演奏家を招聘し、テクノロジーの使用、映像作家とのコラボレーション、ユニークな楽器編成など、毎回、個性的なアイデアで企画。2014 年第 10 回公演『東洋と西洋の絃』にて、チャレンジ精神に満ちた企画で且つ公演成果の水準の高い優れた公演に送られる、第 14 回佐治敬三賞を受賞。

== Program ==

1. アリベルト・ライマン 《オレア》 無伴奏ソプラノの為の より
I. ちょっとした憧れ (2006)
Aribert Reimann: I . *Sehnsüchtelei* aus “*Ollea*” für Sopran Solo
2. 伊藤美由紀 《猫と月》 (2020) (世界初演)
《路傍の道化》 (2020) (世界初演)
Miyuki Ito: *The Cat and the Moon* for soprano (WP)
The Fool by the Roadside for soprano (WP)
3. アリベルト・ライマン 《6種類の声種のためのヴォカリーズ》 より
ソプラノのための「2つのヴォカリーズ」 (2006)
Aribert Reimann: 2 *Vokalisieren* für Sopran aus „*Vokalisieren für sechs verschiedene Stimmlagen*“
4. 水野みか子 《物語る泉》 (2020) (世界初演)
Mikako Mizuno: *Fontaine narrative* for soprano (WP)
5. 久留智之 《女がひとりで歌う唄》 より 「泣き歌」、「イヨンノツカ」 (2020)
Tomoyuki Hisatome: *Weeping Song* and *Iyonnotka* from “*Songs sung by a woman alone*”
6. アリベルト・ライマン 《メルズィーネへの追作》 (1971/87) 無伴奏ソプラノの為の
Aribert Reimann: *Parerga zu Melusine* für Sopran solo
I. 「あなたが私の全てを奪い去って。。。 」 *Wenn du mir alles genommen hast...*
II. 「五千度目の愛の夜にも。。。 」 *Am fünftausendsten Abend unsrer Liebe...*

森川栄子（ソプラノ）

1. アリベルト・ライマン《オレア》無伴奏ソプラノの為の より 1. ちょっとした憧れ(2006)

ハインリヒ・ハイネ Heinrich Heine の十篇からなる詩集「オレアに」Zur Ollea からの四篇に、アリベルト・ライマンが2006年に作曲した、ソプラノソロのためのツィクルスの第一曲。バート・ライヒェンハルにおいて行われた「アルペンクラシック」音楽祭の委嘱作品である。同年8月24日、同音楽祭において、モイツァ・エルトマン Mojca Erdmann のソプラノソロによって世界初演された。

『ちょっとした憧れ』 詩:ハインリヒ・ハイネ

夢の中で、お前は見るだろう
この世のものとも思えぬ花が開くのを
その香りで
憧れと欲求とがお前に充ち満ちる

だが、その花とお前とを
深く無気味な淵が隔てていて
お前の心は哀しみに追い込まれ
血を流し、苦しむのだ

それはなんと魅力的で、なんと眩いのだろう！
ああ、どうやったらそこへ行けるのか？
悪魔の棟梁よ、お願いだから
私のために橋を架けてくれないか？
(訳:森川栄子)

2. 伊藤美由紀 《猫と月》、《路傍の道化》(2020)

猫を飼い始めてから、猫の行動や高音で繊細な鳴き声に魅了され、今年はたまたま猫をテーマとしてトランペットとエレクトロニクス、チェロとエレクトロニクスのための2作品を書き上げた。そしてコロナ禍で自宅にいる時間が長くなるにつれて更に猫との距離が縮まり、イエイツの詩を読んでいるリズムカルな言葉のダンスのような英語の詩、『猫と月』に出会った。また、この詩を読んでいると森川栄子さんの声が脳裡に浮かんできたことも決定理由である。2曲目の『路傍の道化』は、時間が逆さまに流れたらをテーマとしている詩である。どちらの詩も刻々と流れる時間を語っており、現在、過去、宇宙的な流れ、その神秘さ、見えない何かを声で表現しようと試みた。

『猫と月』 詩:W. B. イェイツ

猫は、あちこち歩きまわり
月は独楽(こま)のようにくるくる回る
そして、猫は月とは親密な仲
忍び足で猫は、空を見上げた。
月を見つめた黒猫ミナルーシュ、
彷徨って鳴いたのは、
空の冷たく澄んだ光が
黒猫の獣の血を騒がせたから。
優美な足で
草はらを駆けていくミナルーシュ。
踊りませんか、ミナルーシュ、踊りませんか？
親密な同士が会えば

一緒にダンスですよ？
優雅なダンスをし飽きた月が
新しいダンスのターンを
習いたがるかも。
草はらを忍び足でゆくミナルーシュ
月光を浴びたところを縫って
頭上では気高い月が
新しい姿を変えた。
知っていますか、ミナルーシュ？
あなたの瞳はころころ変わる
満月形から三日月形へ
三日月形から満月形へ。
草はらを忍び足でゆくミナルーシュ
孤独な威張った様子で、そして物知り顔で
姿を変える月に向かって
ころころ変わる瞳を向ける。

『路傍の道化』詩：W. B. イェイツ

全てが揺り籠から墓場まで
向かって進んでいくのに
逆に墓場から揺り籠へと逆回りしたら
道化が繰りなす糸車も
元の方へと逆転し
糸は緩んでしまうだろう、糸は緩んでしまうだろう

揺り籠も糸巻き車もなくなって
私も影のように霞んでしまい
風のように透明で
幻になったとしたら
その時初めて見つかるかもしれない
本当の愛が 本当の愛と言えるものが
(訳：伊藤美由紀)

3. アリベルト・ライマン《6種類の声種のためのヴォカリーズ》より

ソプラノのための2つのヴォカリーズ (2006)

このヴォカリーズ集は、2006年の第55回ミュンヘン国際音楽コンクールの依頼により声楽部門セミファイナルにおける課題曲として作曲されたものである。

コロラトゥーラソプラノ、ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バリトン、バスの各声種用に2曲ずつ作曲されており、基本的に「ア」の母音で歌われるが、場合によっては時折「エ」「オ」等といった違う母音を用いることも許される。テンポは大まかに指示されているが、呼吸の都合により伸び縮みすることも、音楽的な流れを妨げない範囲で許される。各声種の1曲目においては、テーマとしての素材は同一のものを使い、それぞれの声域やキャラクターに合わせて、音高や音価、リズムや強弱を変化させてある。2曲目は、それぞれの声種で全く違う、声種ごとの特徴を表した作品として作曲されているが、一番最後のフレーズにおいて全声種が同じまたは非常に類似した音の流れを持つ終止をする。全ての声種において、1曲目の冒頭はgis音であり、2曲目の終止はg音である。全曲を演奏する場合、また部分的に抜粋して演奏する場合、声種の順番は問わない。

(Schott社から出版の楽譜に掲載の、作曲者による前書きを元に翻訳及び構成：森川栄子)

4. 水野みか子 《物語る泉》(2020)

「物語る泉」はフランスの詩人ルネ・シャールの 1947 年の詩集のタイトルでもあるが、ここでは、シャールの詩文は使用していない。澆刺としていた若き頃の自分を思い、それがすでに遠く過ぎ去ったことにもどかしさをおぼえるが、それでも、時が過ぎ、様々な嵐が通り過ぎ去り、夏のような若き日々を思い出すことさえ難しくなった今でも、何かしらずと持ち続け、信じ続けていることがある。そうした細い線のようなものを手繰りよせながら、有声音と無声音を切り替え、音楽を音楽たらしめる形あるものと無形のものを渡り歩きながら、声の表現を探っていこうと考えた。ベートーヴェンの生誕 250 年の今年、外出もままならない日々の中で、いつにも増してこの偉大な作曲家の音楽について考える時間があった。一部のスキも無く構成されたベートーヴェンの音符の向こう側にあるものに少しでも近づきたいと思う。

森川さんに歌っていただけることを大変嬉しく思うのと同時に、新型コロナによってこのような不透明な時に劇場にお出でいただいた皆様に心より感謝いたします。

5. 久留智之 《女がひとりで歌う唄》(2020)

女はどんな時に歌ってきたのか。女はなぜ歌うのか。主語である「女」を少女、母、老女などに入れ替えると女の一生で起こる様々な場面が浮かび上がる。子守唄、遊び歌、恋の歌、恨み歌、仕事歌、祈り歌等々。そこには女から見た死生観が反映されている。

この作品では、異文化間においても共通する場面で歌われる歌を参照し、歌唱法、歌詞、様式などを調査することから作曲を開始した。その中にある普遍的な要素を抽出し、現代でも共感がもてるように抽象化し洗練化することで、最終的にプロフェッショナルな歌手が演奏する舞台芸術作品にすることを試みている。また、絶滅の危機にある少数民族言語による歌を多く参照しているのも本作品の特徴である。

・「泣き歌」の参照

①パプアニューギニアの森の民カルリのもつムニ鳥の鳴き声を象徴化、様式化した泣き歌。②フィンランド南東部カレリアの弱々しくふるえる泣き歌。③テキストとして、『土佐日記』（紀貫之）、『古今和歌集』、『シャボン玉』（野口雨情）より数編。

・「イヨンノッカ」（子守唄）の参照

①アイヌの子守唄「イヨンノッカ」。フクロウの鳴き声が真似られている。②ハワイアン・チャント。子どもの幸せな一生を祈る歌。③ニュージーランドのマオリの子守唄“Moe Moe Pepe” ④オーストラリアのアボリジニーの子守唄 “Inanay” ⑤ネイティブ・アメリカンの子守唄

『女が一人で歌う唄』歌詞

泣き歌

あるものと忘れつつ なほなき人をいたづらに問ふぞ 悲しかりける
(『土佐日記』紀貫之:「大津より浦戸へ」(亡き児をしのぶ))

もみじ葉を 風にまかせて見るよりも はかなきものは 命なりけり
(古今和歌集 16 巻 859)

「シャボン玉」(野口雨情)

シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ 屋根まで飛んで こわれて消えた
シャボン玉消えた 飛ばずに消えた 生まれてすぐに こわれて消えた
風、風、吹くな シャボン玉飛ばそ

『鳥になった少年』スティーブン・フェルドより ムニ鳥の鳴き声
ムニ鳥(学名:Ptilinopus pulchellus)

イヨンノッカ

「イヨンノッカ」:アイヌの子守唄

oh ho ryu(フクロウの鳴き声)

mokor, mokor, iteki cis no

(mokor 眠れ、iteki 駄目、cis 泣く、no に)

cisan ki koro (cisan 泣くある、ki する、koro と)

okokko cikap (okokko 化け物、cikap 鳥)

i tokpa, i rispa (i それ、tokpa つつき、rispa むしり)

kipe nena (kipe するもの、nena だよ)

kamui e nukar (kamui 神、e お前、nukar 見る)

ki kusne na (ki する、kusne であろう、na よ)

(訳)

オッホウ、ル、

眠れ、眠れ、泣かないで

あまり泣くと

化け物鳥が

お前をつつき、お前をむしる

でありましょう

神様がお前を

見守ってくれるでしょう

ハワイアン チャント

ua hele mai 'oe me ke aloha (あなたは愛とともに来た)

ua hiki aka 'oe me ke hau 'oli (あなたは喜びとともに到着した)

e ho 'omaika' i i kou ola a me na mea ola (生きとし生けるものへ祝福あれ)

マオリ語と英語

pepe yellow (黄色い赤ちゃん)

pepe black (黒い赤ちゃん)

brown, white, red pepe (茶色い、白い、赤い赤ちゃん)

6. アリベルト・ライマン《メルズィーネへの追作》(1971/87) 無伴奏ソプラノの為の

I. 「あなたが私の全てを奪い去って。。。」

II. 「五千度目の愛の夜にも。。。」

1936 年生まれのドイツの作曲家ライマンによる 2 作目のオペラ「メルズィーネ」(初演 1971) のために、原作のイヴァン・ゴルによる戯曲中より抽出したもののオペラ台本には採用しなかった、メルズィーネのアリアのテキストのうちの 2 編に作曲されたもの。第 1 曲は「メルズィーネ」初演の際のタイトルロールを歌ったキャスリン・ゲイヤーがシュヴェツィンゲン音楽祭に於いて 1971 年 5 月 5 日に、第 2 曲は 1995 年 5 月 19 日に森川がマンハイムにて、それぞれ世界初演を行っている。

I.

あなたが私からすべてを奪い去って

肉から皮膚を 肋から肉を 眼から眼窩を 頭から眼を

そしてただあなたの名をささやく

ひと吹き息でしかなくなって 初めてわかるの

どんなに自分があなたのものであるかを

II.

愛しいはじめて五千度目の夜を迎えても

まだいつも初めての時のようにびくびくしてしまう

釣鐘草を濡れたまま摘んで 白い手袋に青い染みをつけ

あなたにとバッグに入れて持ってきた雲雀を 不器用に窒息させて

幸せの哀しみを隠すのには どうやって微笑みかけたらいいのかわからない

あなたを抱きしめようとして 太陽をひっくり返す

(訳: 森川栄子)

==出演者プロフィール==

森川 栄子（ソプラノ）：北海道教育大学札幌分校特音課程および東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了。DAAD 奨学金を得て 1993 年よりベルリン芸術大学に留学し、アリベルト・ライマンに現代声楽曲を、エルンスト・ゲロルト・シュラムに声楽を学ぶ。1994 年ダルムシュタット現代音楽講習にてクラニヒシュタイン音楽賞。1996 年ガウデアムス現代音楽コンクール総合第 2 位、第 65 回日本音楽コンクール第 1 位および増沢賞。ミュンヘン・ビエンナーレ（細川俊夫『リアの物語』ほか）、ザルツブルク音楽祭（ラッヘンマン『マッチ売りの少女』）、ベルリン・コーミッシェオーパー（リゲティ『ル・グラン・マカーブル』）出演など、数多くの新作世界初演を含む現代声楽作品・オペラを中心に主に欧州にて活躍。国内では、サントリー サマーフェスティヴァル（1996 年 リゲティ「アヴァンチュール」、2015 年 ツィンマーマン「ある若き詩人のためのレクイエム」ほか多数）、2005 年に新国立劇場委嘱新作（久保摩耶子『おさん』）、2007 年東京交響楽団定期演奏会（ヘンツェ『ルプパ』）、2009 年東京室内歌劇場公演（リゲティ『ル・グラン・マカーブル』、ヒンデミット『往きと復り』）、2010 年東京室内歌劇場公演（青島広志『火の鳥』）などに出演。2008 年秋の帰国以来、愛知県立芸術大学、お茶の水女子大学において教鞭をとると同時に、ベルリン芸術大学教授アクセル・バウニ氏を共演ピアニストとして招聘し定期的にリサイタルを開催するなど活発な演奏活動を展開している。愛知県立芸術大学教授。

伊藤 美由紀（作曲）：愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院修士課程修了後、コロンビア大学（ニューヨーク）で作曲をトリストラン・ミュライユに師事、博士号を取得。文化庁芸術家在外研修員として IRCAM（フランス国立音響音楽研究所）にて研鑽を積む。ミュージック・フロム・ジャパン（ニューヨーク）、アタック・シアター（ピッツバーグ）、愛知芸術文化センター、Sinus Ton（ドイツ）、大矢素子、加藤訓子、等からの作品委嘱ほか、名古屋文化振興賞、日本交楽団振興財団作曲賞入選、フランコ・エヴァンジェリスティ国際コンクール（イタリア）優勝などを含み、カーネギーホール（NY）、レゾナンス・フェスティヴァル（パリ）、ISCM（香港、エストニア）、ICMC（マイアミ）、SMC（ギリシャ、スペイン）、Re:New（デンマーク）、Visiones Sonoras（メキシコ）、Foro 国際現代音楽祭（メキシコ）、Sinus Ton（ドイツ）、アジア音楽祭など国内外で作品の発表を続けている。また、ニンフェアール、JUMP（日米：新しい音楽の展望）の代表として自主企画公演を定期的に展開。ニンフェアール第 10 回公演は、第 14 回佐治敬三賞受賞。『時の砂』が ALCD80 から、『もうひとつの声』が 2020 年トーンフォレスト・レコードからリリース。執筆活動として『音楽現代』に特集記事や演奏会評を寄稿。メキシコの電子音楽雑誌『Ideas Sonicas』に自作品の分析論文（英語）が掲載。『二十五絃箏の可能性』の研究テーマで 2019 年カワイサウンド技術音楽振興財団研究助成、2020 年には愛銀教育文化財団を受賞。今まで、名古屋芸術大学、千葉商科大学、愛知県立芸術大学大学院、愛知県立大学、四川音楽学院（中国）などで、後進の指導にあっている。 http://www.miyuki-ito.com/Miyuki_Ito/Home.html

久留智之（作曲）：久留の作風は、西洋現代音楽の潮流とは一線を画している。いつの時代のどこの音楽なのだろうかと訝しむかもしれないが、それは「世界音楽の時代」に入ったといわれる芸術音楽の現在形なのである。また彼は常に時代と対峙しようとする姿勢を持ち、環境問題や 9.11NY テロ、3.11 東北大震災などをテーマとした「グリーンコンサーツ」や「21 世紀の日本・アジアの子守歌の創造」（京都 22 世紀クラブ主催）において音楽監督等として長期に関わった。これまでに内外の著名な演奏家のほか、NHK、全音楽譜出版社、メルボルン作曲家協議会などから多くの委嘱を受けている。文化庁舞台芸術創作奨励特別賞（管弦楽部門）、第 14 回 PAS 打楽器作品コンクール第 1 位（アメリカ）、トリエステ市賞第 2 位（イタリア）、神戸国際フルート作品作曲コンクール第 2 位、ISCM 入選（1991 スイス、1997 韓国、2015 スロヴェニア）、ACL 入選（1997 フィリピン、2007 ニュージーランド）など受賞多数。東京芸術大学大学院作曲科修了。同大学院在学中にイタリア政府給費留学生として渡欧。ミラノ G・ヴェルディ音楽院作曲科及び指揮科にて学び、ローマ アカデミア・聖チェチリア作曲科修了。広島大学大学院助教授を経て、現在、愛知県立芸術大学教授、アンサンブル・アッカ芸術顧問、民族芸術学会会員。作品は全音楽譜出版社、Mieroprint、マザーアース、フォンテック (FOCD-2563 現代日本の作曲家『メリー・バクテリア・ミュージック 久留智之作品集』) から出版されている。

水野みか子（作曲）：現代音楽の分野で室内楽、管弦楽曲、声楽、電子音響音楽などを幅広く発表し、作品は Bourges 電子音響音楽祭（フランス）、GEDOK（ベルリン）、Venice 国際音楽祭、Alba 国際音楽祭（イタリア）、musicacoustica（北京）、武衛宮国立芸術センター（台湾）開館記念音楽祭、Reims Avandgarde（フランス）や国際コンピュータ音楽会 ICMC (2017, 2018, 2019)、国際現代音楽協会 ISCM 2010 などをはじめ国内外の音楽祭や国際大会で多数紹介・演奏されている。2008-2013 年、毎年北京中央音楽院にて電子音響音楽アジアネットワークに参加し、マスタークラスを行う。2016 年、パリ・ソルボンヌ大学にて客員研究員として電子音響音楽研究を行なった。最近の作品に、管弦楽のための＜ミルフォード・ポンド＞（2019）、三重奏曲＜かぶきじゃないかぶき＞（cl., vc., pf., 2019）、異なる時空間に存在する 2 台ピアノのための＜Diastema＞（2020）、ヴァイオリンとコンピュータのための＜行き交う光束＞（2017）、フルートとライブ視聴覚インタラクションのための＜アクサライ 3＞（2018）、8 チャンネルオーディオのための＜風の譜＞（2020）などがある。名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授。

伊藤美由紀という特異な感性が、重層的な歴史によって彩色された
神秘のメキシコと出会い、結晶の滴のようなCDを生んだ。

佐藤紀雄(ギター・指揮)



令和2年度(第75回)
文化庁芸術祭 参加作品
The Participating Work
at the National Arts Festival

MIYUKI ITO LA OTRA VOZ

- INSPIRED BY MEXICAN CULTURE -

〈伊藤美由紀 作品集〉もうひとつの声

—メキシコ文化に魅了されて—

〈収録曲〉

絃の独白 Strings' Soliloquies

—二十五絃箏とギターのための—

もうひとつの声 La Otra Voz

—フルート、クラリネット、ヴァイオリン、チェロ、ピアノとエレクトロニクスのための—

鳥の創造 Creación de las aves

—二十五絃箏、ギターと打楽器のための—

結晶化した数字 Figuras Cristalizadas

—フルート、クラリネット、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ、二十五絃箏、ギターのための—

二重星(II) Étoile Double (II)

—2台のオンド・マルトノのための—

新しい歌 Cantos Nuevos

—ソプラノとエレクトロニクスのための—

枯渇の美(IV) Fading Beauty...(IV)

—二十五絃箏とエレクトロニクスのための—

—参加アーティスト—

オニックス・アンサンブル / 佐藤紀雄(ギター・指揮)
木村麻耶(二十五絃箏) / 窪田健志(打楽器)
原田節(オンド・マルトノ) / 市橋若菜(オンド・マルトノ)
森川栄子(ソプラノ)



伊藤美由紀 作品集

もうひとつの声

—メキシコ文化に魅了されて—

定価・¥2,800(税込価格:¥3,080)
TFCC-2004

お近くのCD・レコード店、Amazonなどの
オンラインストアにてお求めください

2020年7月22日発売

iTunes、Amazon(mp3販売)、e-onkyo.mora 等
各音楽配信サイトでも同時配信予定



楽器協力:株式会社大塚製作所

♪ CDのご予約: nymphheart@yahoo.co.jp (伊藤まで) (送料込み)
(トラック1、3、5、6の作品(ニンフェアル公演で初演))
トラック6(森川栄子 ソプラノ)

*コロナ対策のため、本公演では物品販売はいたしません。

CDに関心を持って頂いた方は会場でお声をかけて下さるか、メールでメッセージをお願いします。